

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(浸水防護施設)

No.	指摘日	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
1	2021/5/12	補足140-1	津波への配慮に関する 説明書の補足説明資料	6.2.3- 18	強度評価に用いる余震時水平震度の設定に1次元地震応答解析を用いていることについて、耐震評価との解析方法が異なること、評価断面方向の考え方、水平成層モデルを用いることの妥当性を説明すること。	強度評価においては、作用荷重が支配的となる水路縦断方向を評価断面とすることを記載の上、水路縦断方向において概ね水平成層構造であることから、一次元地震応答解析に基づき震度を設定する旨を記載した。また、取水路を代表に、周辺地質構造をモデル化した二次元有限要素モデルから抽出した加速度応答との比較にて、有意な差が無いことから設定した深度が妥当であることを記載した。	補足-140-1(O2-補-E-01-0140-1_改20) 6.2.3 p.6.2.3-10,16,19,22~24, 6.2.4 p.6.2.3-10,15,18,20	今回回答	
2	2021/5/12	補足140-1	津波への配慮に関する 説明書の補足説明資料	6.2.1- 3	流路縮小工の設計を実現するための施工方法(施工手順や立坑の設置等の仮設計画、既設覆工部への影響を考慮した施工方法、充填方法等)について、今後整理して説明すること。	流路縮小工の設計上必要な要求性能とそれを実現するための施工方法及び施工上の配慮事項を記載した。 (立坑埋戻し後の影響評価結果については今後説明)	補足-140-1(O2-補-E-01-0140-1_改20) 6.2.参考資料4	今回一部回答	
3	2021/6/7	-	先行プラントとの差異に係る概要リスト(浸水防止設備・津波監視設備)	2-1	くぐり戸付扉について、芯材等の構造の詳細、荷重の伝達経路及び評価部材の代表選定の考え方を整理して説明すること。	くぐり戸付扉について、芯材等の構造の詳細、荷重の伝達経路及び評価部材の代表選定の考え方を整理して記載した。	VI-2-10-2-7-1 水密扉(浸水防止設備)の耐震性についての計算書p11,25, VI-3-別添3-2-6 水密扉の強度計算書p11,20,30, 補足-140-1 津波への配慮に関する説明書の補足説明資料 6.5.2.1 水密扉の設計に関する補足説明6.5.2-10	今回回答	
4	2021/6/7	補足140-1	津波への配慮に関する 説明書の補足説明資料	6.5.3.1- 26	スキンプレートに上向き地震荷重が働く場合の主桁と固定ボルトの偏心荷重の影響について、評価結果を整理して説明すること。	スキンプレートに上向き地震荷重が働く場合の主桁と固定ボルトの偏心荷重の影響に係る追加検討結果を説明する。	—	今後回答	
5	2021/6/7	補足140-1	津波への配慮に関する 説明書の補足説明資料	6.5.3.3- 19	浸水防止蓋(第3号機補機冷却海水系放水ピット)の耐震評価について、第3号海水熱交換器建屋の水平動によるロッキングの影響を踏まえて説明すること。	第3号海水熱交換器建屋のロッキング評価結果を踏まえた浸水防止蓋への影響を説明する。	—	今後回答	

女川2号工認 指摘事項に対する回答整理表(浸水防護施設)

No.	指摘日	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	コメント内容	回答内容	資料等への 反映箇所	回答状況	備考
6	2021/6/7	補足140-1	津波への配慮に関する 説明書の補足説明資 料	6.5.3.1 -16	原子炉機器冷却海水配管ダクト(鉛直部)(以下、「海 水配管ダクト」という。)に設置する浸水防止蓋の設計 震度について、海水ポンプ室(東西断面及び南北断 面)の地震応答解析結果を用いている理由を明確に し、海水配管ダクト設計用の地震応答解析結果を用 いた場合との設計震度の差異を整理して説明するこ と。	海水ポンプ室と海水配管ダクト設計用の地震応答解 析結果を比較し、保守的に海水ポンプ室(東西断面) の加速度を設計に用いていることを説明する。	—	今後回答	
7	2021/6/7	-	先行プラントとの差異に 係る概要リスト(浸水防 止設備・津波監視設 備)	3-11	止水ジョイント及びそれを支持する構造物について、 申請上の位置付けを整理し、各添付書類への記載方 法を含め、考え方を整理して説明すること。	要求機能や先行事例を踏まえ、整理を行い説明す る。	—	今後回答	
8	2021/6/7	補足140-1	津波への配慮に関する 説明書の補足説明資 料	6.5.3.9 -52	揚水井戸のシャフトの健全性評価において、偏土圧 等によるシャフトの円周方向の変形が浸水防止蓋の 浸水防止機能へ与える影響について整理して説明す ること。	偏土圧等によるシャフトの円周方向の変形の影響に 係る追加検討結果を説明する。	—	今後回答	
9	2021/6/7	VI-3-別添 3-2-11	津波監視設備の強度 計算書	3	取水ピット水位計解析モデルのモデル化範囲の考え 方を示すとともに、評価部位として取付ボルトを選定 することの妥当性について説明すること。	—	—	今後回答	
10	2021/7/5	VI-2-10- 2-11 VI-3-別添 3-2-10	貫通部止水処置の耐 震性についての計算書 貫通部止水処置の強 度計算書	9 19	貫通部止水処置の計算書において、3号補機冷却海 水系放水ピット浸水防止蓋貫通部は、建屋、放水ピッ ト、浸水防止蓋、配管の地震による変位の影響を考 慮すべき構造であることから、基準地震動Ssや余震 による変位の影響を考慮した評価であることを説明す ること。	—	—	今後回答	
11	2021/7/5	VI-2-10- 2-13-2	取水ピット水位計の耐 震性についての計算書	17,22, 23,46	各部位の構造と解析モデルとのつながりについて説 明すること。	—	—	今後回答	

女川2号工認 記載適正化箇所(浸水防護施設)

No.	図書種別, 図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	完了年月日	備考
1	補足140-1	津波への配慮に関する説明書の 補足説明資料	6.2.1 p.6.2.1 -36, 6.2.2 p.6.2.2 -36	覆工部の単位体積重量について、鉄筋を考慮し、鉄筋コンクリートの単位体積重量であることを記載した。	2021/7/26	
2	補足140-1	津波への配慮に関する説明書の 補足説明資料	6.2.3- 24	強度評価において参照している、土地改良事業計画設計基準 設計「ダム」技術書[コンクリートダム編](農林水産省 農村振興局, 平成15年4月)の安定性評価式について記載した。	2021/7/26	
3	補足140-1	津波への配慮に関する説明書の 補足説明資料	6.2.3- 28 6.2.4- 21	充填部せん断強度(τ_c)の記載について、覆工部と記載を適正化した。	2021/7/26	